



## 台風のなかでも 運転しなければいけないとき

9月は8月と並び台風の上陸数が1年間で最も多くなります。

台風接近時は極力運転を避けたいところですが仕事ではそうはいかないことも。

では、そのような状況下で運転するときにはどこに気をつけるべきでしょうか。



## いつも仕事で通る道 台風のなかで何がキケン？ 道路の障害物と それを避けたクルマとの衝突

何に注意しますか？

- 木や電柱、看板などの倒壊
- 強風による飛来物にあわててしまうこと
- 歩行者や自転車が風で車道にはみ出すこと

上記以外で特に注意いただきたいのは

### 他車の急ブレーキ急ハンドルです

強風による飛来物や道路の落下物といった思わぬアクシデントで周りのドライバーが急な運転操作をすることが増えます。さらに、自車も落下物によるパンクの危険があるので道路状況には十分気をつけましょう。

# 台風が接近 強風での運転の注意点は？ ドアが思わぬ勢いで開くこと

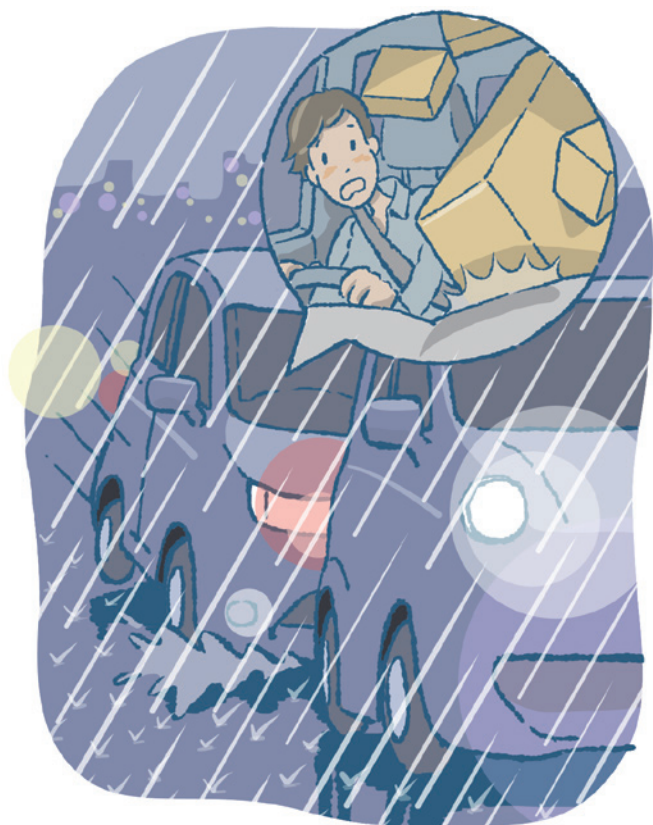
## 何に注意しますか？

- 橋の上やトンネル出口で強い風が吹くこと
- ハンドルをしっかり持って横風に備える
- 強風でドアが一気に開いてしまうこと

上記以外で特に注意いただきたいのは

## 台風の強風による思わぬ事故です

背が高いクルマ、側面の面積が広いクルマは風にあおられやすいことは経験上多くの方がご存じかと思います。もうひとつ強風で注意したいのは、荷物を多く積む車両が空荷になったときです。空荷になったことによって車両の重心が高くなって横風にあおられやすくなります。



# 台風による大雨 視界不良の夜道で何がキケン？ 急ブレーキによって 積み荷が崩れること

## 何に注意しますか？

- 積み荷は崩れないように適切な固定をする
- 追突される危険があるため停車時はハザードランプで他車にアピール
- 衝突被害軽減ブレーキは悪天候時に正常に作動しないことも

上記以外で特に注意いただきたいのは

## 路肩停車時の作業です

荷下ろしなどのために路肩に停車して作業するときは特に要注意。大雨のためにあせって作業して車道へ飛び出してしまい事故にあうことも考えられます。夜間の作業こそ余裕をもって周囲の安全確認をしっかり行いましょう。



Hondaはビジネスニーズに適した製品や  
購入プラン、メンテナンスなどのご提案を通じ  
企業のビジネス活動を全力でサポートします。

**HONDA**

本田技研工業株式会社 法人営業部  
2022年3月